

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構から出された「新しいABC分類 胃がんリスク層別化検査（ABC分類）2016年度改訂版 運用の手引き」に基づき、下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたく、ご案内いたします。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

■ 変更実施日

2017年4月3日（月）ご依頼分より

■ 変更項目

項目コード	項目名称
9149	ABC 検診

● 変更内容

新たな運用手引きに基づき、検査項目名称・ヘリコバクターピロリIgG抗体の判定基準を変更させていただきます。ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、ABC分類の判定対象とならないため、除菌者用の項目コードを新設し、E群（除菌群）としてご報告いたします。

* 下線部が、文章中の変更点になります

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
9149	ABC 検診	項目名称	胃がんリスク層別化検査（ABC分類）	ABC 検診
		ヘリコバクターピロリ IgG抗体の判定基準	3U/mL 未満	10U/mL 未満
		備考	<p>ペプシノゲンとヘリコバクターピロリ IgG 抗体を実施し、それぞれの検査結果と ABC 分類をご報告いたします。<u>ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、ABC 分類の判定対象にはなりません。除菌判定の結果に関わらず、E 群（除菌群）としてご報告いたします。除菌治療を受けた方は、胃がんリスク層別化検査(ABC分類) 除菌あり(項目コードNo.：)にて、ご依頼ください。</u></p>	<p>ペプシノゲンとヘリコバクターピロリ IgG 抗体を実施し、それぞれの検査結果と ABC 分類をご報告いたします。</p>

A群からD群の説明文章について

C群およびD群の説明文章が変更になります。なお、A群、B群については変更ありません。

	新	現
A群	健康的な胃粘膜で、胃疾患の危険性は低いと考えられます。	健康的な胃粘膜で、胃疾患の危険性は低いと考えられます。
B群	消化性潰瘍に留意する必要があります。	消化性潰瘍に留意する必要があります。
C群	<u>萎縮の進んだ胃粘膜で、胃がんなどになりやすいタイプと考えられます。</u>	胃がんの高危険群と考えられます。
D群	<u>萎縮が非常に進んだ胃粘膜で、胃がんなどになりやすいタイプと考えられます。</u>	胃がんのより高危険群と考えられます。

ABC 検診の注意事項を下記に変更させていただきます。なお、1、4、5については変更ありません。

ABC 検診の注意事項

以下の場合には正しい結果が得られない場合があります。

	新	現
1	明らかな上部消化器症状のある方	明らかな上部消化器症状のある方
2	<u>上部消化管疾患治療中の方</u>	食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方
3	<u>プロトンポンプ阻害剤服用中の方</u>	胃酸分泌抑制薬服用中もしくは2か月以内に服用していた方
4	胃切除をされた方	胃切除をされた方
5	腎不全の方	腎不全の方
6	<u>ピロリ菌の除菌治療を受けた方</u>	ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療を受けた方

認定NPO 法人日本胃がん予知・診断治療機構「新しいABC分類 胃がんリスク層別化検査 (ABC分類) 2016年度改訂版 運用の手引き」より

▼ 除菌治療を受けた方の場合の項目要綱

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存	所要日数	検査方法	実施料判断料
6251	胃がんリスク層別化検査 (ABC分類) 除菌あり	血清 0.8	A00 (旧記号 X: ポリスピッツ)	冷蔵	2~4	ヘリコバクターピロリ IgG 抗体: EIA、 ペプシノゲン: CLEIA	未収載

※ABC検診用のチャートも変更させていただきます。

チャートの出力はABC検診をご依頼の際に出力となります。

ヘリコバクターピロリ IgG 抗体、ペプシノゲン単独でのご依頼につきましては出力されませんので予めご了承ください。